



最終局面を迎えたLIBOR移行対応

— デウス・エクス・マキナ(機械仕掛けの神)は現れない —

2021年6月8日

NIKKEI Financialオンラインセミナー

日本銀行副総裁

雨宮 正佳

第1の局面(2012年～)

- 円LIBORのみならず、東京市場の銀行間取引レートに基づく「TIBOR」も、指標としての頑健性を高めるべき対象に。
- 「無担保コール・オーバーナイト物レート」を日本円リスク・フリー・レートに特定。

第2の局面(2017年7月～)

- 「日本円金利指標に関する検討委員会」が設立され、円LIBORに代わる金利指標の選択と利用のあり方に関する検討を推進。

最終局面(2021年3月～)

- これまでの検討が一段と進み、移行作業に必要な道具立てが出揃い。
⇒ 今後の焦点は「各市場参加者による移行作業の実施」に。

TIBOR

- メガバンクを含む主要な金融機関が呈示する銀行間取引レートから算出。

後決め複利

- 実際の取引に基づく無担保コール・オーバーナイト物レートから算出。
- 最も頑健性の高い指標だが、支払い直前まで利息額が確定せず、既存の事務運用等との親和性が低い。

TORF (Tokyo Term Risk Free Rate)

- わが国のターム物リスク・フリー・レート。
- 金利スワップ市場で後決め複利と交換される固定金利のOISレートから算出。
- 既存の事務運用等との親和性が高い一方、指標としての頑健性確保が論点。

マイルストーン

- 円LIBORを参照した貸出や債券の新規取引を、本年6月末を目途に停止。



達成に向けた道具立て

- 検討委員会は、第1回市中協議を通じ、ターム物リスク・フリー・レートが代替金利指標として最大支持を集めたことを公表。
- ターム物リスク・フリー・レートであるTORFの確定値は、約2か月前倒しで、本年4月26日から公表。

マイルストーン

- 円LIBORを参照した貸出や債券の既存取引残高を、本年9月末を目途に大幅に削減。



達成に向けた道具立て

- 検討委員会は、第2回市中協議を通じ、フォールバックにおける代替金利指標としてTORFを第1順位とする推奨案に、多くの賛同が集まったことを公表。
- 全銀協など業界団体は、貸出のフォールバック対応の契約雛形を公表。

マイルストーン

- 円LIBORスワップの新規取引を停止し、OIS取引に移行。



達成に向けた道具立て

- 検討委員会は、「円金利スワップ市場におけるLIBOR公表停止への対応」を公表。
 - ✓ 円LIBORスワップの新規取引を、遅くとも本年9月末を目途に停止。
 - ✓ 円LIBORスワップに代わって取引の中心となるべきは、OIS取引。